

第3次静岡市生涯学習推進大綱案 パブリックコメントの結果概要について①

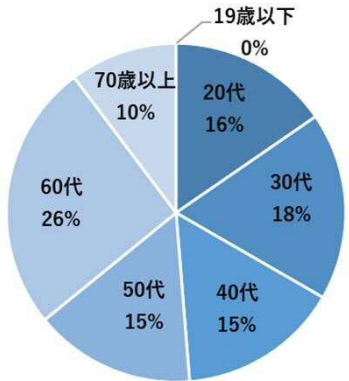
1 パブリックコメント実施概要

- 実施期間 令和4年9月5日（月）から令和4年10月4日（火）
- 周知方法 生涯学習推進課窓口・各区役所市政情報コーナー
各生涯学習センター、生涯学習交流館、図書館、
スポーツ施設、文化施設
- 提出方法 郵送、持参、電子申請

2 パブリックコメント回答者の属性

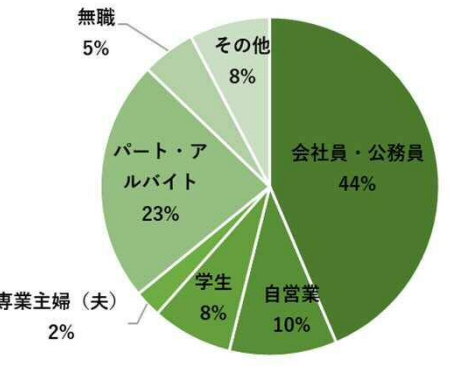
○意見要旨提出人数 39人（うち意見等の記載件数 73件）

(1) 回答者の年代



年齢（人）	
19歳以下	0
20代	6
30代	7
40代	6
50代	6
60代	10
70歳以上	4

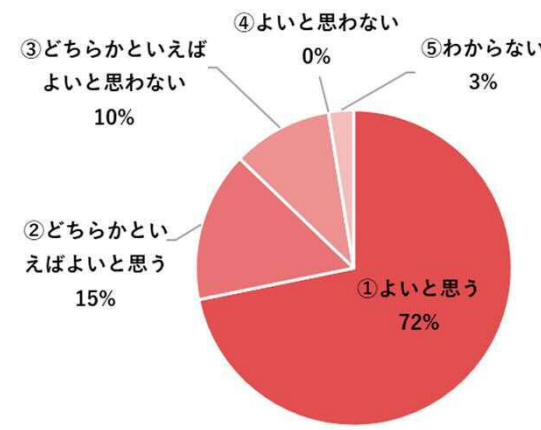
(2) 回答者の職業



職業（人）	
会社員・公務員	17
自営業	4
学生	3
専業主婦（夫）	1
パート・アルバイト	9
無職	2
その他	3

3 「大人の学び直し」に対するご意見

問1 人生のうちで働く期間が延びている中、激しく変化し予測困難な時代に適応していくため、第3次大綱案では若い世代からの「大人の学び直し」（リカレント教育・リスキリング等）についても積極的に取り組んでいこうと考えています。このことについてどのように思いますか。



回答（人）	
①よいと思う	28
②どちらかといえばよいと思う	6
③どちらかといえばよいと思わない	4
④よいと思わない	0
⑤わからない	1

▶「よいと思う」の主な意見

- ・時代は常に変わるので、新しい知識を常に取得し続けることが大事だと考えるから。
- ・若い世代から高齢者まで「学び直し」は誰が必要であり、企業・事業者など職場における「学び直し」も重要であると考えます。

▶「どちらかといえばよいと思う」の主な意見

- ・「大人の学び直し」は必要だと思いますが、これまでの生涯学習施設が担っていた高齢者の生きがい・居場所づくりとしての役割も大切

▶「どちらかといえばよいと思わない」の主な意見

- ・職業に関わる学びを提供していくことは大切だと思うが、提供する側にその能力があるのか疑問
- ・若い人を前面にだしてしまうと、高齢者の居場所（こういうところでお話したり交流する）を、奪うことになるのでは？

第3次静岡市生涯学習推進大綱案 パブリックコメントの結果概要について②

4 第3次大綱基本構想案に対するご意見（自由記載）

問2 基本構想案について、ご意見や、期待することなどをご自由にお書きください。

主な項目	主な意見
基本構想案全体（考え方）	<ul style="list-style-type: none">・基本構想案についてはどういったことをしたいのか方向性はわかったが、生涯学習になじみがないため、具体例があるといいと思う。・「はじめに」で述べられている「生涯学習」と第1章以降で使われている「生涯学習」の意味合いが違ったものとなっているように感じる。
キャッチコピー	<ul style="list-style-type: none">・「ワタシゴト」というコンセプトはとても良いと思う。自分の暮らしをアップデートしながら地域も磨いていける人材を育成していけたらいい。・生涯学習は学びを通して様々な「場所」で人と人々が共に学びあうことです。「学び」は「人と人の交流」に繋がります。そのことが新しいキャッチコピーからイメージができませんでした。
推進体制	<ul style="list-style-type: none">・基本構想（案）は、たいへん意欲的であり、頼もしく感じる。一方でこれまでの行政主体では難しいと感じる。公民連携、民主導につながるスタンスで取り組んでもらいたいと思う。・「好きなこと」「知りたいこと」「役に立つこと」+「仕事」につながる学びには、一歩進んだ「推進体制」が重要になってくると思うので、とても期待しています。
DXの推進	<ul style="list-style-type: none">・「ICR活用」の一環として、生涯学習施設にWi-Fi環境を整備することが若い世代を含めた施設の利用拡大につながるのではないかと。生涯学習施設が災害避難所になっていることから有用と思われる。・高齢者はまだまだオンラインに慣れていないが、今後を考えると高齢者がオンラインできるような生涯学習もいるのか？
表現	<ul style="list-style-type: none">・「リカレント教育」や「リスキリング」といったカタカナ言葉が多く、注釈はあったが一度読んだだけで理解するのは難しく感じた。誰もが読みやすく、理解しやすい言葉で書くとより良くなるのでは。・誰もがわかりやすい言葉で説明してもらいたい。興味を持てるような表現が望ましい。わかりやすい言葉で目で見て理解できる工夫がほしい。
「若い世代」	<ul style="list-style-type: none">・「若い世代」とは何歳当たりを指しているのか。50代以下を指しているなら広すぎるように思えるし、20～30代以下なら若い世代の参加率が少ない的なる主張に円グラフを添える意味が分からない。・生涯現役ということ、若い世代が減少しているということなのに、なぜ、若い人たちを取り込もうとしているのか。生涯現役ということであれば、高齢者に活躍してもらえよう人材を養成したほうがいい。